

東海道五十三次 27 番目の宿場

令和8年4月23日
袋井市長定例記者会見資料
危機管理部危機管理課

一般社団法人 日本RV協会との災害時における協定を締結 ～災害時にキャンピングカーの提供により職員の宿泊場所を確保～

- ◇令和8年4月に、袋井市初のRVパーク「RVパークうみてらすDORI」を新設したこと、袋井市内に日本RV(Recreational Vehicle)協会の会員企業販売店があることをきっかけとして、大規模災害が発生した場合などにおける応援職員の宿泊施設の確保を目的に、このたびキャンピングカーを活用した災害時における協定を袋井市と日本RV協会とで締結します。
- ◇日本RV協会は、キャンピングカーに関連する企業で構成された組織です。「くるま旅」や「車中泊」という文化を創出し、日本にキャンピングカーというカルチャーを根付かせることを目指しています。そのためにキャンピングカーユーザーが楽しめる環境の整備、市場の育成、業界の発展に寄与する活動を行っています。
- ◇協会は自治体との災害協定の締結を進めており、令和6年1月の能登半島地震に対して、石川県からの要請を受け、会員企業から集まったキャンピングカー60台を派遣し、応援職員の宿泊施設を確保しました。

【概要】

- 1 調印日 2026年(令和8年)4月23日(木) 市長定例記者会見終了後
- 2 協定先 一般社団法人 日本RV協会
所在地:神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-19
- 3 出席者 会長 荒木 賢治(あらき けんじ)様
会員 畑中 貴博(はたなか たかひろ)様((有)カスタムワールドハタナカ 代表取締役社長)
事務局 関口 麻梨 (せきぐち まり)様
- 4 協定内容
 - (1)災害時等におけるキャンピングカーの提供
 - 災害等が発生または発生する恐れがある場合や、防災訓練等の実施に際し、要請に基づきキャンピングカーを提供する。
 - (2)平時の取組
 - 市およびRV協会は平時においてもキャンピングカーの災害時における有用性を広く地域住民に周知し、理解を醸成していくことに努める。
 - RV協会は市が行う防災訓練等に協力する。
- 5 その他
市は「海のにぎわい創出プロジェクト基本計画」のスポーツアクティビティゾーン整備のひとつとして、うみてらすDORI(同笠海岸エリア)に、日本RV協会の認定を受け「RVパークうみてらすDORI」を開設した。
令和8年4月1日から供用開始している。



【お問い合わせ先】

袋井市 危機管理部危機管理課 防災減災推進係 (担当:本多)
電話: 0538-86-3703 FAX: 0538-86-5522 メール: bousai@city.fukuroi.shizuoka.jp